

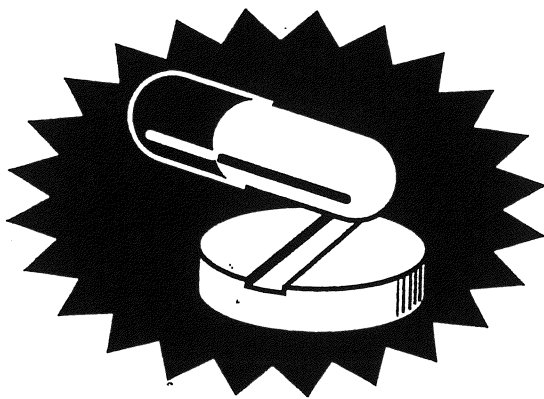
No more  
薬害

# 薬害オンブズパースン・ タイアップ札幌

17周年記念講演

## 「向精神薬を科学する」

～抗不安薬・睡眠導入剤の功罪～



『薬害オンブズパースン会議』は、薬害エイズ訴訟の弁護士と全国市民オンブズマン連絡会議の呼びかけにより、1997年6月に発足した民間のNPO法人です。医師、薬剤師、薬害被害者、弁護士、市民らで構成された会議体で、市民への医薬品に関する情報提供、厚生労働省や企業に対する公開質問や要望等を行っています。

「薬害オンブズパースン・タイアップ札幌」は、薬害オンブズパースン会議のタイアップグループ札幌支部として1999年2月に設立された市民組織です。薬害オンブズパースン会議とともに市民の立場で薬害の発生を防止する事を目的とし、各種調査、研究、学習、各種イベントの開催などの活動を行っています。

今回の集会でとりあげるベンゾジアゼピン系(BZ系)薬剤は、「安定剤」や「睡眠導入剤」として一般内科など精神科以外にも広く処方されている薬剤です。BZ系薬剤の効果は短期的であり、通常の用量でも2週間以上の使用により依存・耐性を発現する場合があります。欧米では、これらの薬剤による乱用や依存・習慣性・健忘作用などが社会問題化し規制が強化されてきましたが、日本では、安心して使える精神安定剤という認識が一般化しています。このため、安易に処方され、耐性化の認識がないまま、いったん処方されると継続的に処方される傾向にあります。薬害オンブズパースン会議は、2015年10月、厚生労働省および関係企業に安全使用に関する要望書を提出しています。

今回は、向精神薬の問題に長年取り組んでいる石田悟氏を講師にお招きし、BZ系薬剤の問題を中心に会場の皆さんとともに考えたいと思います。ぜひ多くの方のご来場をお待ちしています。

### ◆講師◆ 石田 悟氏 (藤代健生病院 薬剤師)

●3月5日(土) 15:00～総会

15:30～講演会

講演前に15:00から第18回タイアップ札幌総会を行いますので、タイアップ会員および入会希望の方はご参加ください。

●北海道高等学校教職員センター

4階大会議室にて(札幌市中央区大通西12丁目)

●参加費500円

●お問い合わせ先/三浦 五郎(HMメディカル協同組合)

TEL. 011-782-9292

